

富士中容量UPS

UPS6100D-3シリーズ

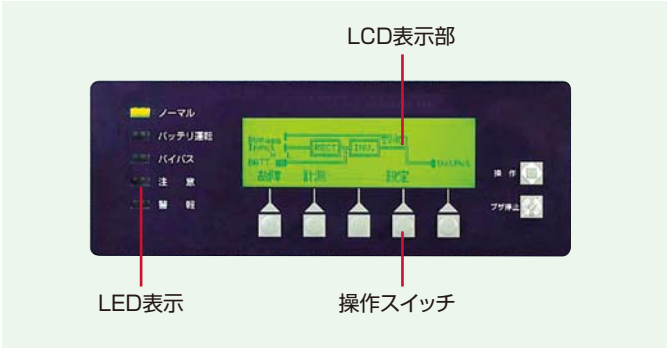


情報技術(IT)を支える富士UPS

私達を取り巻く情報ネットワークは多様化と拡大を続けており、
そのため高信頼と高可用性を実現できる高品質の電力が求められています。
UPS6100Dシリーズは高度な最新技術を搭載した三相オンラインUPSです。

特長

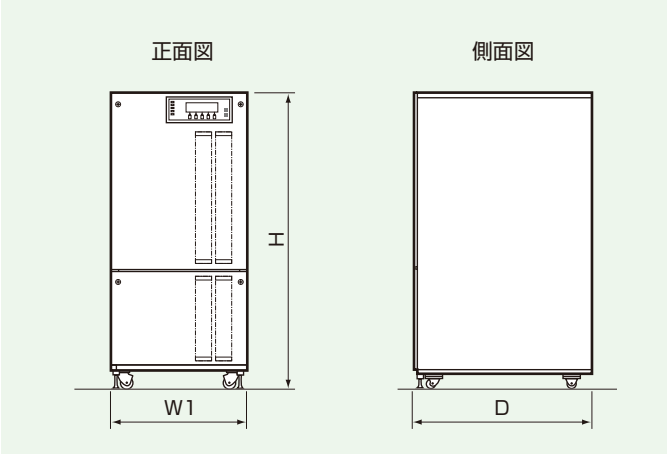
- **高性能**
常時インバータ給電方式を採用しているので、常に定電圧、定周波数の安定した無瞬断電力を供給します。
- **豊富な容量系列**
10kVAから50kVAまで6機種を準備しており、負荷システムに最適な機種選定ができます。
- **並列運転可能**
将来の負荷拡張による容量拡大や信頼性向上のための冗長運転など、UPSの並列運転が容易にできます。
- **高機能、高信頼性の実現**
 - IGBTによる高力率コンバータの採用で交流入力力率をほぼ1.0に制御、同時に高調波電流の抑制制御の採用
 - パワーウォークイン機能で入力電源へのショックを低減
 - バッテリ寿命監視機能
 - 監視ソフトでUPSの遠隔モニタリング機能
 - ネットワークエージェントカードによるネットワーク対応機能
- **ユーザーフレンドリーな操作パネル**
 - 漢字表示のLCDパネル採用
 - 運転状態が一目でわかる系統表示、LED状態表示
 - ソフトキーによる画面ナビゲーション
 - イベント、履歴確認可能



- **豊富なオプション**
 - 監視ソフト(Power-SOL UPSステーション)
 - ネットワークエージェントカード
 - 各種周辺盤、オプションバッテリー

外形寸法・質量

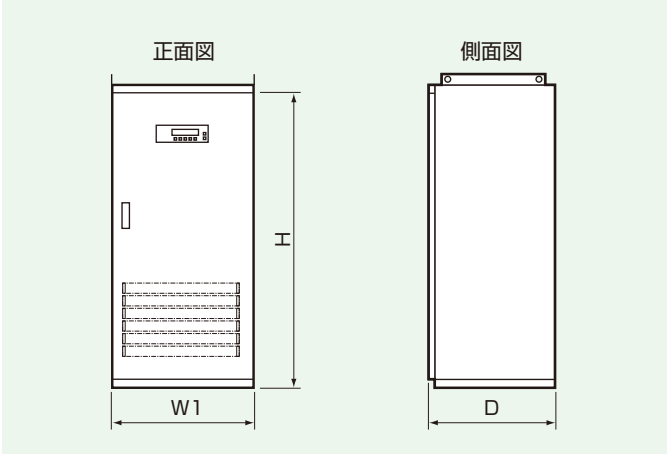
■UPS本体 単機運転方式 10/15/20kVA



UPS容量(kVA)	外形寸法(mm)			質量(kg)
	(W1)	(D)	(H)	
10	580	760	1262	510
15	580	760	1262	635
20	580	760	1262	635

注1)上表は、標準バッテリー(10分間バックアップ)を含みます。
注2)塗装色：マンセル0.5Y8/0.7(レザートーン仕上げ)

■UPS本体 単機運転方式 30/40/50kVA



UPS容量(kVA)	外形寸法(mm)			質量(kg)
	(W1)	(D)	(H) (本体+ベース)	
30	700	750	1600+50	490
40	700	750	1600+50	610
50	700	750	1600+50	610

注1)塗装色：マンセル5Y7/1(半つや)

UPS6100D-3

仕様

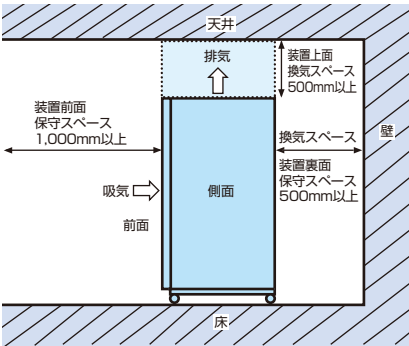
型式		6100D(単機仕様)						6100D(ハイスベック仕様)(単機仕様)			
モデル		3/10	3/15	3/20	3/30	3/40	3/50	3/30	3/40	3/50	
給電方式		常時インバータ給電方式						常時インバータ給電方式			
容量		10kVA	15kVA	20kVA	30kVA	40kVA	50kVA	30kVA	40kVA	50kVA	
交流入力	相数	三相3線									
	電圧	200/210V									
	電圧範囲	180～220/189～231V									
	定格周波数	50/60Hz									
	周波数変動範囲	±3Hz									
	力率	0.97以上									
	電流歪率(THD)(定格線形負荷時)	5%以下									
バイパス入力	相数	三相3線									
	定格電圧	200/210V(工場出荷時に設定)									
	電圧範囲	200/210V 180～220/189～231V									
	定格周波数	50/60Hz									
	周波数変動範囲	±3Hz									
直流入力	定格電圧/セル数	360V/180セル									
	電圧範囲	288～409.5V(標準バッテリーの場合)									
交流出力	相数	三相3線									
	定格電圧	200/210V(工場出荷時に設定)									
	電圧精度	±1.5%						±1%以内			
	定格周波数	50/60Hz(工場出荷時に設定)									
	周波数精度(内部発振時)	±0.05Hz(自走発振時)									
	周波数直送同期範囲	±0.5Hz/±1Hz(初期設定値)/±2Hz									
	定格負荷力率	0.8(遅れ)						0.9(遅れ)			
	負荷力率変動範囲	0.7(遅れ)～1.0									
	電圧波形歪率	100%線形負荷	3%以下(線形負荷)								
		100%整流負荷	5%以下(整流器負荷)								
		過渡電圧変動	±5%以下								
		負荷急変0⇔100%	±5%以下								
		入力電圧急変	±2%以下								
		停電、復電	±2%以下								
		出力BYP→INV切換時	±5%以下								
		過渡変動整定時間	50ms以下								
		電圧不平衡比(100%不平衡負荷時)	±2%								
	インバータ過負荷耐量	110%：10分、125%：1分、150%：10秒						110%：30分、125%：10分、150%：1分			
発熱量		1.41kW	1.95kW	2.6kW	3.59kW	4.36kW	5.45kW	3.59kW	4.44kW	5.55kW	
絶縁耐圧、抵抗		AC2000V 1分間/3MΩ以上									
騒音 ※通常はAレンジ、100%負荷時		約60dB(A)				約65dB(A)				約70dB(A)	
周囲温度		0～+40℃									
相対湿度		15～90%(結露なきこと)									
標高		1000m以下									
塗装色		0.5Y8/0.7 レザートーン				5Y7/1 半つや					

注)並列冗長運転等の交流出力仕様は、別途お問い合わせ下さい。

設備場所・保守スペース

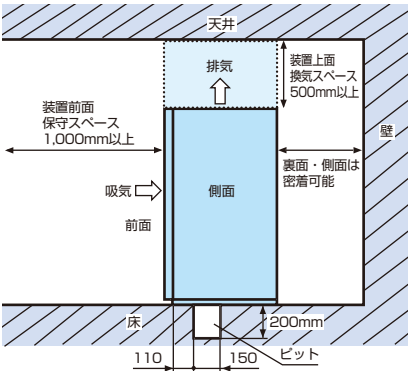
10/15/20kVA

- UPS本体の保守・換気スペースとして下記のスペースを確保してください。
*定期部品交換・定期点検以外の作業をする場合、右側面板を外す可能性があります。この際は装置を前方に引出すか、右側面600mm以上のスペースが必要となります。
- 横倒し搬入はしないでください。
- 下記寸法以上の搬入ルートを確認してください。
幅850mm×高1,600mm以上
- 設置場所の床荷重をご確認ください。
- 塩害および腐食性ガス流入のない環境に設置願います。

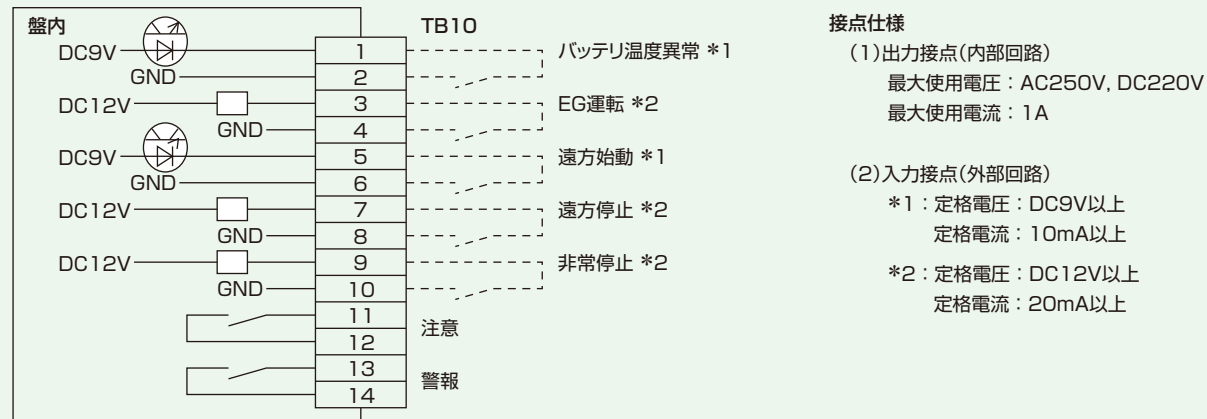


30/40/50kVA

- UPS本体の保守・換気スペースとして下記のスペースを確保してください。また、下部配線を標準としていますので、ピットまたはフリースアクセス床を設けてください。上部配線はオプションで対応しますので、仕様打合せ時にご相談ください。
- 横倒し搬入はしないでください。
(必要な際は、仕様打合せ時にご相談ください。)
- 下記寸法以上の搬入ルートを確認してください。
幅1,000mm×高2,100mm以上
- 設置場所の床荷重をご確認ください。
- 塩害および腐食性ガス流入のない環境に設置願います。



入出力インタフェース



設備・計画

■電源設備・空調設備・配線

入力電力容量・発生熱量・受電側MCCB容量・配線サイズは下記のとおりです。

UPS容量 [kVA]	最大入力 電力容量 [kVA]	最大入力・出力 接続電線 [mm ²]	入力・出力 端子ねじ	受電側MCCB
10	10.5	22	M6	50AF/50AT
15	16	22	M6	100AF/75AT
20	21	22	M6	100AF/75AT
30	31	100	M10	250AF/125AT
40	41	100	M10	250AF/175AT
50	50	100	M10	250AF/175AT

■アース

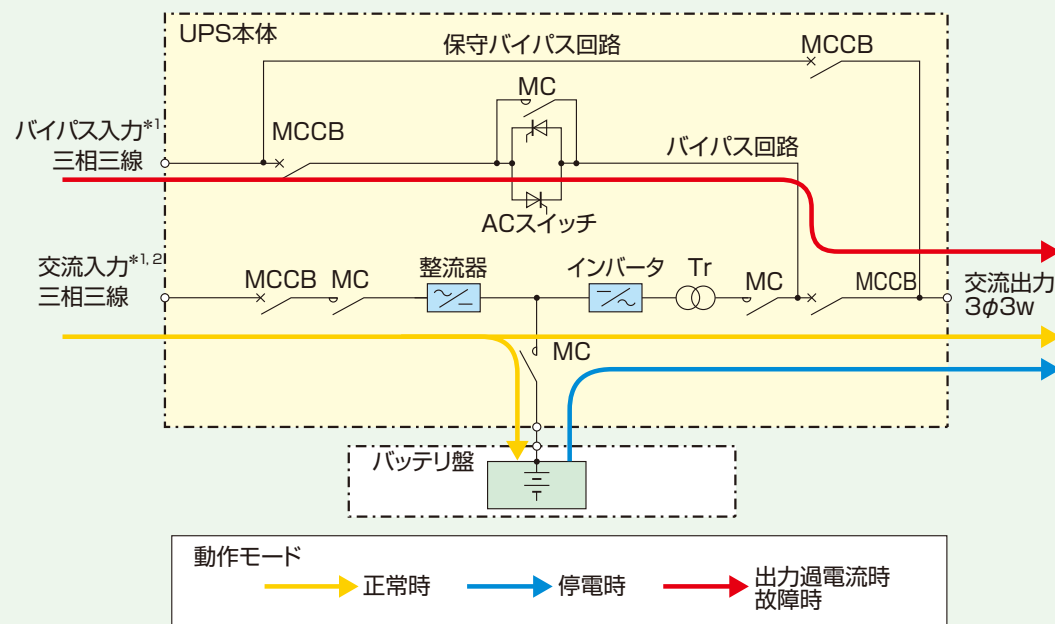
C種アース1極を専用でご用意ください(または、接地極へ直接つながるアース線をご用意ください)。

アースは接地極からUPSまでの配線ルートが電力線または、受変電用アース線などと平行布線とならないよう注意してください。

■換気設備

制御弁式鉛蓄電池は、通常はガスが発生しない構造となっていますが、安全のため外気と通じる換気設備をご用意ください。

UPS本体標準回路構成

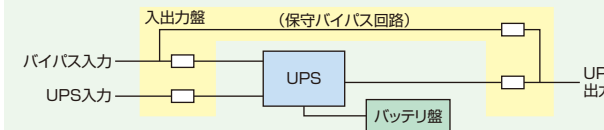


*1：コンピュータシステムおよび漏電遮断器の動作などで、バイパス回路と絶縁する必要がある場合は、別途入力絶縁変圧器をオプションとして準備しています。

*2：10～20kVAは一系統入力となります。

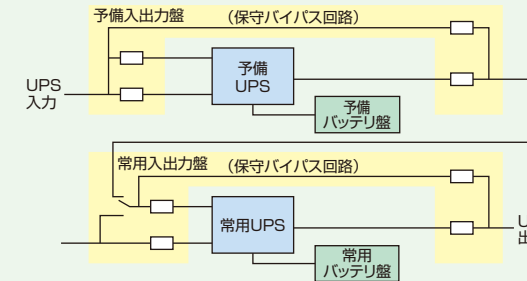
UPSシステム構成

■単機システム



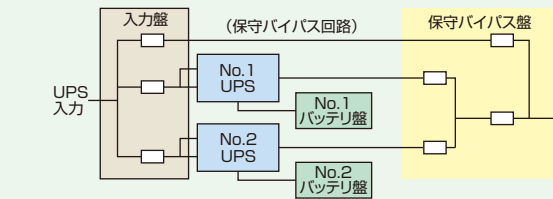
- 保守点検および定期部品交換・故障時以外は安定した電源を供給することができます。
- 故障時でも、UPS内部バイパス回路に無瞬断で切換し給電を継続します。

■待機冗長システム



- 常用UPSのバイパス入力に予備UPSの出力(安定した電源)を接続することで、保守点検および定期部品交換・故障時に予備UPSの出力(安定した電源)で供給することができます。
- 拡張性・信頼性にすぐれたシステム構成です。

■並列冗長システム



- 1台のUPSが故障時、他号機UPS出力で供給することができます。
- すべてのUPS故障時、UPS内部バイパス回路に無瞬断で切換し給電を継続します。
- UPS内部バイパス回路が各UPS個別になっており、共通部を最小化し、信頼性を向上しています。
- 拡張性・信頼性にすぐれたシステム構成です。
- 4台並列冗長運転まで可能です。

注) □は遮断器を示します。

標準蓄電池の仕様

UPSは商用電源が停電すると、蓄電池電源を使用します。しかし、蓄電池で長時間の停電をカバーするのは経済的ではありません。通常は短時間をカバーする容量としており、30分を超える長時間の停電をカバーする場合は、非常用自家発電設備を設けた方が経済的です。

標準蓄電池はUPS専用の小型制御弁式鉛蓄電池を使用しており、電圧確認の日常保守のみで約5年*の期待寿命をもっています。また、MSEに比べて省スペース化を実現しました。

*1：周囲温度25℃、放電回数は数回2.0C₁₀A放電時の期待寿命です。(電池工業界 SBAG0304)。

■蓄電池容量(標準値)一覧

蓄電池容量(負荷力率：0.8) [蓄電池の保守率=1.0]

装置容量	停電補償時間[+25℃、放電終止電圧=1.6V/cell]
	10分
10kVA	12Ah
15kVA	24Ah(12Ah×2)
20kVA	24Ah(12Ah×2)
30kVA	44Ah
40kVA	44Ah
50kVA	56Ah(28Ah×2)

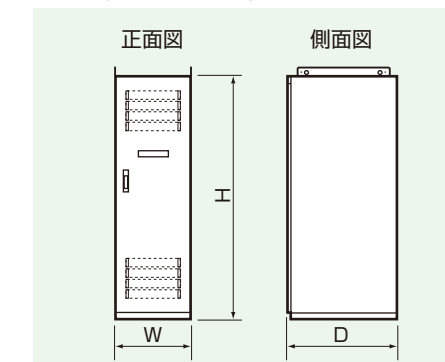
注：蓄電池容量につきましては、御見積時に再度確認ください。

■標準バッテリー盤寸法・質量(参考)

蓄電池[蓄電池の保守率=1.0]

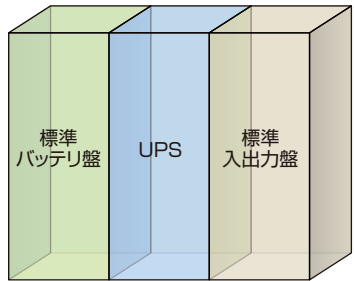
装置容量	外形寸法(mm)			質量(kg)
	幅(W)	奥行(D)	高さ(H)(本体+ベース)	
10kVA	内蔵	760	1262	－
15kVA	内蔵	760	1262	－
20kVA	内蔵	760	1262	－
30kVA	500	750	1600+50	800
40kVA	500	750	1600+50	800
50kVA	500	750	1600+50	850

外形図(30～50kVA)



特長

- 標準パッケージ化により、従来より大幅に納期を短縮。
- 列盤配置のため、トータル最適設計により、省スペース化を実現。
- 多彩なオプション選定で、お客様の要望にフレキシブルに対応。

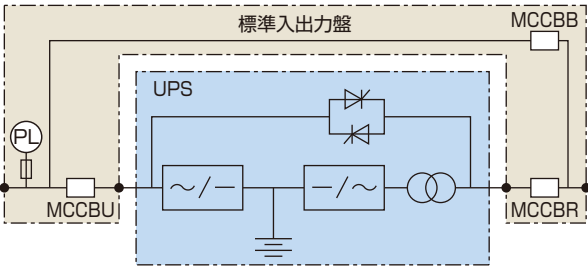


パッケージ

標準入出力盤(スコットトランスなし)

■単機システム

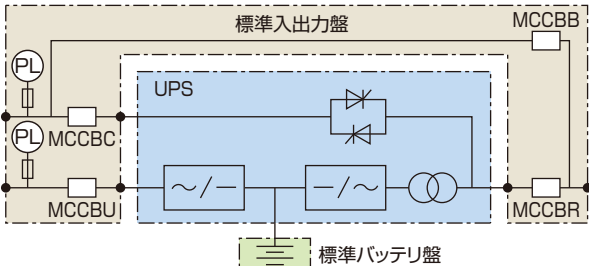
10～20kVA



●：入出力端子

※1系統入力のためMCCBCはなし

30～50kVA



標準バッテリー盤

■仕様

システム容量(kVA)	型式	装置容量	配線用遮断器容量			
			MCCBU	MCCBC	MCCBR	MCCBB
10	UPS6100D-BCX010	10kVA	50AF/50AT	—	50AF/50AT	50AF/50AT
15	UPS6100D-BCX015	15kVA	100AF/75AT	—	100AF/75AT	100AF/75AT
20	UPS6100D-BCX020	20kVA	100AF/75AT	—	100AF/75AT	100AF/75AT
30	UPS6100D-BCX030	30kVA	250AF/125AT	100AF/100AT	100AF/100AT	100AF/100AT
40	UPS6100D-BCX040	40kVA	250AF/175AT	250AF/175AT	250AF/175AT	250AF/175AT
50	UPS6100D-BCX050	50kVA	250AF/175AT	250AF/175AT	250AF/175AT	250AF/175AT

■列盤外形図・寸法

システム容量(kVA)	寸法(mm)					質量(ベース含む)[kg]		
	標準入出力盤幅(W1)	UPS幅(W2)	標準バッテリー盤幅(W3)	奥行(D)	高さ(H)	標準入出力盤	UPS	標準バッテリー盤
10	400	580	—*1	760	1262	90	510	—*1
15							635	
20								
30	500	700	500	750	1600+50*3	170	510	820*2
40						190	630	
50								

*1:10～20kVAはバッテリー内蔵となります。

*2:50kVAの場合、870kgとなります。

*3:本体+ベース寸法となります。

■入出力端子・推奨ケーブルサイズ

UPS容量(kVA)	入出力端子サイズ	最大ケーブル(mm ²)
10	M6	22
15	M8	60(22*)
20	M8	60(22*)
30	M10	100
40	M10	100
50	M10	100

*:()内はUPSとの渡りケーブルサイズです。

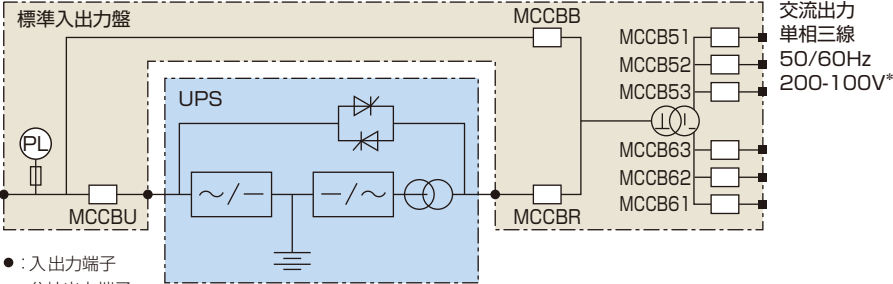
UPS6100D-BCX010

シリーズ名	装置容量(kVA)	
BCX:トランスなし	010:10kVA	030:30kVA
BCT:トランスあり	015:15kVA	040:40kVA
	020:20kVA	050:50kVA

標準入出力盤(スコットトランスあり)

■システム構成

10～20kVA



●：入出力端子

■：分岐出力端子

※交流入力が210Vの場合は、210-105V出力になります。

■仕様

型式	装置容量	配線用遮断器容量		
		MCCBU	MCCBR	MCCBB
UPS6100D-BCT010	10kVA	50AF/50AT	50AF/50AT	50AF/50AT
UPS6100D-BCT015	15kVA	100AF/75AT	100AF/75AT	100AF/75AT
UPS6100D-BCT020	20kVA	100AF/75AT	100AF/75AT	100AF/75AT

■分岐配線用遮断器容量

UPS容量	出力数	MCCB51		MCCB52		MCCB53		MCCB61		MCCB62		MCCB63	
		定格仕様	出力端子サイズ	定格仕様	出力端子サイズ	定格仕様	出力端子サイズ	定格仕様	出力端子サイズ	定格仕様	出力端子サイズ	定格仕様	出力端子サイズ
10kVA	2分岐	50AF/30AT	M6	—	—	—	—	50AF/30AT	M6	—	—	—	—
	4分岐	50AF/30AT	M6	50AF/30AT	M6	—	—	50AF/30AT	M6	50AF/30AT	M6	—	—
	6分岐	50AF/30AT	M6	50AF/30AT	M6	50AF/30AT	M6	50AF/30AT	M6	50AF/30AT	M6	50AF/30AT	M6
15kVA	2分岐	50AF/50AT	M6	—	—	—	—	50AF/50AT	M6	—	—	—	—
	4分岐	50AF/50AT	M6	50AF/30AT	M6	—	—	50AF/50AT	M6	50AF/30AT	M6	—	—
	6分岐	50AF/50AT	M6	50AF/30AT	M6	50AF/30AT	M6	50AF/50AT	M6	50AF/30AT	M6	50AF/30AT	M6
20kVA	2分岐	100AF/60AT	M8	—	—	—	—	100AF/60AT	M8	—	—	—	—
	4分岐	100AF/60AT	M8	50AF/30AT	M6	—	—	100AF/60AT	M8	50AF/30AT	M6	—	—

注:MCCB選定条件:スコットトランスの2次側仕様は1φ3W200/100Vを標準とした場合とする。

*:出力数2以上はオプションになります。

■入出力端子・推奨ケーブルサイズ

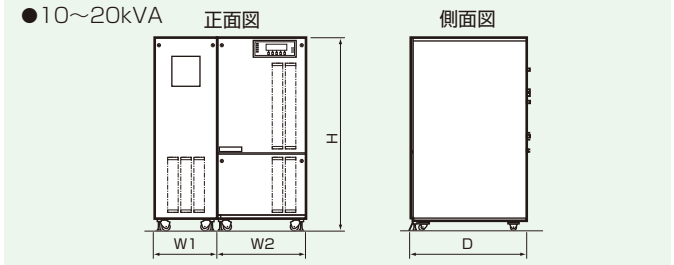
UPS容量(kVA)	入力端子サイズ	最大ケーブル(mm ²)
10	M6	22
15	M8	60
20	M8	60

■分岐出力端子・推奨ケーブルサイズ

出力端子サイズ	最大ケーブル(mm ²)
M6	22
M8	60

■列盤外形図・寸法

システム容量(kVA)	寸法(mm)				質量(kg)	
	標準入出力盤幅(W1)	UPS幅(W2)	奥行(D)	高さ(H)	標準入出力盤	UPS
10	500	580	760	1262	260	510
15					340	635
20					390	



標準入出力盤オプション仕様一覧

オプション項目	UPS6100D		
	標準入出力盤(スコットトランスなし)		標準入出力盤(スコットトランスあり)
	10 ～ 20kVA	30 ～ 50kVA	10 ～ 20kVA
1 営繕対応*	○	○	○
2 分岐MCCB追加	×	×	○
3 上部入線	×	○	×
4 MCCB警報出力(a接点)	○	○	○
5 塗装指定	○	○	○
6 V/A/Hz/Wメータ付き	○	○	○
7 防滴構造(IP21)	×	○	×
8 ドアハンドル	×	○	×

注:○ 対応 × 対応不可 * :国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様」

保守契約について

安心してご使用頂くため、全国のサービスネットワークがお客様のUPSをバックアップします。

■ 保守契約内容パターン一覧表

お客様のUPSの保守計画や予算に応じた保守契約を選択してもらえよう、準備しました。

	24時間障害受付 技術者派遣	定期点検	定期交換部品 バッテリー、ファン	修理時の 使用部品
パターンA (フルメンテナンス)	○	○	○	○
パターンB (標準保守)	○	○	◇ 別途見積	○
パターンC	○	○	◇ 別途見積	◇ 実費精算
パターンD (スポット保守)	× 含まず	◇ 随時	× 含まず	× 含まず

注1: ○ 保守契約の範囲。

◇ 保守契約には含まれません。別途費用により承ります。

注2: 負荷機器が停止できない場合の部品交換作業には、保守バイパス回路の設置が別途必要です。

注3: 並列システムのUPS点検は、1台ずつ解列にて点検作業を実施致します。

■ 24時間障害受付

万が一のトラブルに対し休日・夜間を問わず24時間365日「富士電機コールセンター」にて障害受付を行います。障害内容の確認から、サービス員の派遣まで迅速に対応します。(コールはUPSをご購入頂いたお客様からのみとさせていただきます)

■ 突発故障時の故障診断・修理

北海道から九州・沖縄まで全国20箇所以上のサービス拠点にてお客様のUPSをサポートします。トラブル発生時、最寄の拠点よりサービス員を派遣します。

注4: 並列冗長システムの共通部点検は、保守バイパス回路への切換、または停電が必要です。

注5: 定期点検の回数・方法は、お打合せによります。

注6: 保守パターンについては、お打合せによります。

ネットワーク・ソフトウェア

Power-SOLのUPSステーション(有償)監視モニタ例

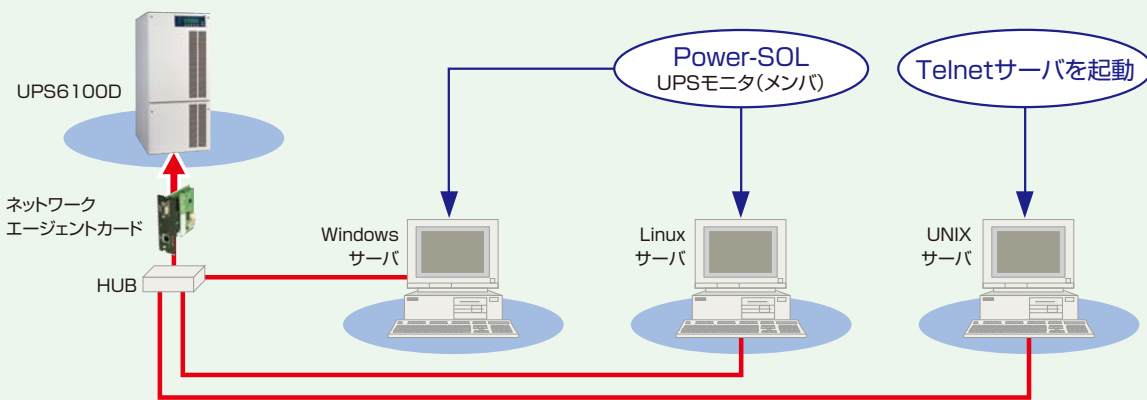
■ 複数の三相UPSをネットワーク経由で一元監視可能

- UPSの運転状態をオフィスにしながら手軽に、簡単に監視できます。
- 障害情報や計測データが監視端末にログとして記録・蓄積されているので、万が一の障害発生時には解析データとして役立ちます。

- 計測データを活用して負荷状況を判断できます(実負荷容量の監視など)。
- 外出中にも障害情報をメール受信できるので、障害対応が迅速に行えます。

ネットワークシャットダウン機能

- オプションのネットワークエージェントカードにより、サーバシャットダウンが可能
- ネットワークエージェントカード1枚で最大64台までシャットダウンが可能



■ Windows, Linuxへの対応

Power-SOL UPSモニタ(無償)をインストール

<Windows>

- ・Windows 98SE
- ・Windows Me
- ・Windows NT4.0 SP6
- ・Windows 2000 SP1/SP2/SP4(Server含む)
- ・Windows XP SP1 (Professionalのみ)
- ・Windows Server 2003(各Edition)
- ・Windows 7 各種(64ビット)
- ・Windows Server 2008, 2012

<Kernel 2.4.5-2.4.20 Linux>

- ・Redhat Linux 7.2/7.3/8/9
- ・Turbo Linux Server, WorkStation 7/8
- ・Miracle Linux V2.0
- ・LASER5 Linux 7.2
- ・Open Linux 2.3
- ・Sun Linux 5.0

■ UNIXサーバへの対応

Telnetクライアント機能により

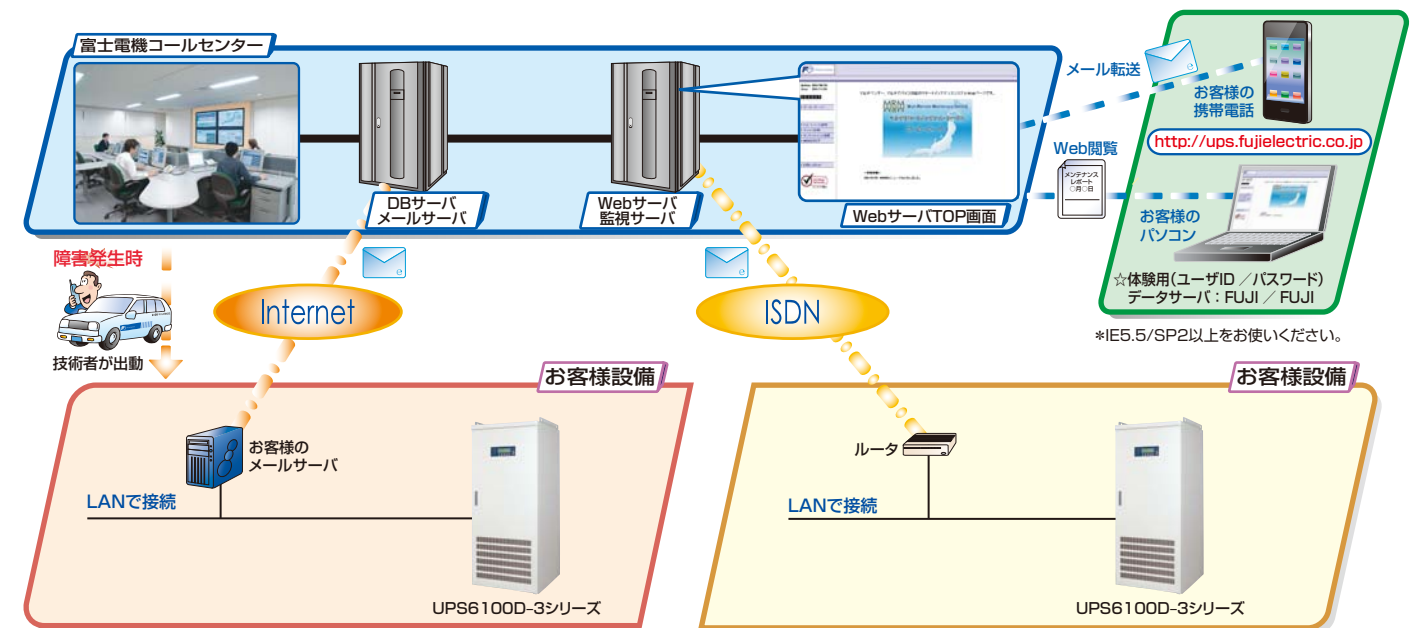
- ログイン/スクリプト実行
- ・Solarisなど

※UPS停電時ネットワークエージェントカードに設定されたシャットダウンタイミングでPower-SOL UPSモニタ(メニュー)に停電を通知し、登録されたTelnetサーバにログインしてスクリプトを実行します。

ネットワーク対応リモートメンテナンス

マルチリモートメンテナンスサービス(MRM※)

リモートメンテナンスシステムは、お客様に代わって、大切な設備を監視・メンテナンスいたします。



※MRM: Multi Remote Maintenance Serviceは当社の登録商標です。

インターネットに接続できる環境があれば、インターネットエクスプローラなどのブラウザソフトにてどこからでもUPSの情報が見れます。

低コスト

- お客様使用のEメール機能の活用により、通信費用が発生しません。

監視機能強化

- 万一の障害発生時には、自動的に富士電機コールセンターへデータを送信することで、24H・365日監視し、専門の技術員が対応します。

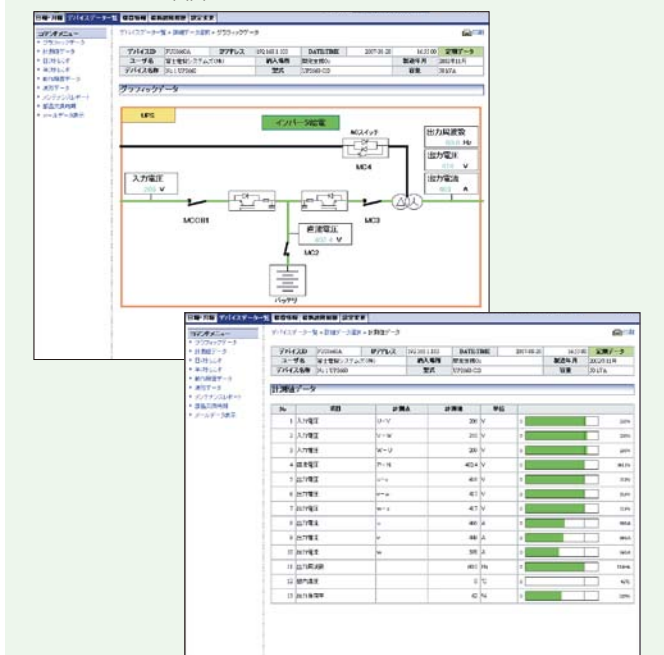
高度なセキュリティ

- ユーザー IDとパスワードでユーザー認証(日本ペリサイン SSL認証にてセキュリティ強化)。
- 専用の回線(INS64など)での対応が可能となり、より安全性を高めることができます。

便利な機能

- 万一の障害発生時に富士電機コールセンターからの連絡先をユーザーが任意に設定・変更が可能です。

グラフィックデータ画面



計測値データ画面

注)MRMサービス利用時は、別途リモートメンテナンス契約が必要となります。

無停電電源装置(UPS)をお使いになるお客様へ

無停電電源装置をご使用の前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■安全上の注意事項

1. 設置場所について

本装置の電源工事は電気の専門業者が行ってください。屋内設置を前提としており、下記の項目に注意してUPSを設置し、使用してください。

- ・ ちりやほこりの多い場所
 - ・ 高温高湿の場所
 - ・ 風通しの悪い場所
 - ・ 傾斜や振動する場所
 - ・ 腐食性ガスを含む場所や海岸近辺など塩分を多く含む場所またはこれらに相当する環境の悪い場所
- このような場所での使用はUPS内部の部品腐食の原因となり装置の寿命低下および信頼性低下の要因となります。

設置場所の温度条件は0 ～ +40℃で設計されていますが、UPSの安定稼働やバッテリーの寿命などの点から、25℃以下での運転を推奨します(発熱量は定格仕様を参照ください)。

次のような用途に使用する場合は、システムの多重化、非常用発電設備の設置や運用・維持・管理などについて特別な配慮が必要となりますので、事前に当社へ相談ください。

- ・ 人命に直接かかわる医療機器
- ・ 人身の損傷に至る可能性のある機器
- ・ 社会的、公共的に重要なコンピュータシステムや設備

日本国外での使用については別途お問合せください。本資料に掲載のUPSは日本国内向けの仕様で製作されています。

2. 定期保守について

UPSの設計上の標準使用期間は15年です(周囲温度は25℃)。品質維持のため、当社UPS専門員による定期保守を推奨します。

3. 分解/改造の禁止について

感電の恐れがあるため、カバーを開けたり、改造することを禁止します。UPSの内部には、100Vを超える電気回路があります。また、内蔵蓄電池により、UPSが停止中であっても直流回路に電圧がかかっています。

4. 絶縁耐圧試験や絶縁抵抗試験の禁止について

絶縁耐圧試験や絶縁抵抗試験を禁止します。UPSは、半導体などを使用した電子機器ですので、絶縁耐圧試験や絶縁抵抗試験は実施しないでください。故障の原因となり、発煙・発火に至る可能性があります。

■システム構築上の注意事項について

1. 電源電圧の確保について

頻繁に停電や電圧低下があると、十分な充電ができず、停電の際にバックアップ時間が短くなったり、蓄電池故障となる恐れがあります。UPSの入力電源仕様にあった電源を確保願います。UPSはバックアップ可能時間と比べて充電時間が1昼夜と長くなります。

2. 保守バイパスについて

UPSをご使用になる際には、点検や修理、バッテリー交換を行うために、UPSを完全に切り離すことができる保守バイパス回路を設けていただくことをお願いいたします(詳細はP4のUPSシステム構成を参照ください)。

3. 特定負荷との組合せについて

励磁突入電流がある変圧器、起動電流を発生する電動機などの負荷に給電する場合、UPS容量選定に当たっては、特別な配慮が必要となりますので、事前に当社へご相談ください。

4. 半波整流負荷および進み力率負荷の接続禁止について

半波整流負荷や進み力率負荷を接続すると、UPSの不安定動作によって故障となる可能性があります。

5. 非常用発電機との組み合わせについて

UPSは発電機から見た場合、アクティブな整流器負荷ですので、組み合わせたケースにより、発電機端子電圧に異常電圧が発生する恐れがあります。発電機の容量選定は発電機メーカーにご相談ください。

6. 火災予防条令について

火災予防条令では同一防火区画に設置できるバッテリーの総量を規定しています。UPSはバッテリーを使用していますので、同一防火区画のバッテリーの総量が4,800Ah・セル以上の場合、所轄の消防署へ届出をお願いします。

7. 電波障害について

住宅地域で使用した場合、ラジオ・テレビなどに電波障害を与える可能性があります。

8. 回生負荷について

UPSは回生電力のある負荷には使用できません。装置故障の原因となります。

9. 騒音について

カタログ記載の騒音はUPS装置から1m離れた位置で測定した値です。設置場所の環境(反射音などの影響)により、騒音値が仕様値を超過する場合があります。

10. 保守スペースおよび換気スペースについて

カタログ記載のスペースは空調と強制換気がなされた良好な環境に設置された場合の最小スペースを示しています。詳細については据付要領書を参照願います。

■その他

1. 保証について

ご検収一年以内に、通常の使用条件で、設計または材料の瑕疵もしくは工作上の原因により、当社が納入した機器に、破損または運転上の不適合が生じた場合には、無償にて修理いたします。この場合、当社の保証に関する義務は、不適合機器の修理費用、ないしは無欠陥品との交換費用を超えるものではないものとします。また、間接的損害、二次的損害に関しては、その責を免ぜられるものとします。なお、本製品に使用による事故が発生しても、それに起因する損害および二次的な波及損害のすべての補償には応じかねます。

2. 搬入について

搬入の際、特に指定がない場合には車上渡しとなります。実際の搬入および設置については、当社へ相談ください。

3. 耐震について

設置現場で十分な耐震性能を確保するために、アンカーボルト等の位置・個数について検討が必要となりますので、弊社までご相談ください。

4. 本体の廃棄について

廃棄する場合、所管法令に従い廃棄してください。

5. 蓄電池の再資源化(リサイクル)について

バッテリーは主に鉛蓄電池を使用しています。鉛蓄電池は再資源化可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーの廃棄や交換に関しては、当社の営業または保守契約サービス会社まで相談ください。

6. 蓄電池の寿命期について

バッテリーには寿命があります。ご使用中のバッテリーが更新期限に近づくか、バッテリー寿命警告の警報メッセージが表示されたら、速やかにバッテリーを交換してください。そのまま使用しますと、停電バックアップされず、負荷機器が停止する可能性があります。バッテリーの更新期限や詳細については、バッテリーの仕様書や取扱説明書を参照ください。

全国サービスネットワーク

富士電機株式会社

SC：サービスセンター

北海道	北海道支社	〒060-0031 札幌市中央区北1条東2-5-2(札幌泉第一ビル) ☎(011)221-5487
	☆苫小牧SC	〒053-0052 苫小牧市新開町3-17-4 ☎(0144)57-3330
	☆帯広SC	〒080-0804 帯広市西5条南9-2-15(タチノセンタービル) ☎(0155)27-1621
東北	☆釧路SC	〒085-0014 釧路市末広町13-1-4(釧路サウスビル) ☎(0154)32-4888
	東北支社	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-10-11(新平和ビル) ☎(022)223-4460
	☆青森SC	〒030-0861 青森市長島2-25-3(ニッセイ青森センタービル) ☎(017)777-7802
関東	☆秋田SC	〒010-0922 秋田市旭北栄町1-46-3 ☎(018)824-3401
	郡山SC	〒963-8033 郡山市亀田1-2-5 ☎(024)939-2913
	神田サービス統括部	〒101-0021 東京都千代田区外神田6-15-12 ☎(03)5816-7907
中部	☆東関東支店	〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-7-17(KAKIYAビル) ☎(045)476-7841
	☆鹿島SC	〒260-0843 千葉市中央区末広4-20-1 ☎(043)266-7622
	☆ひたちなかSC	〒314-0127 神栖市木崎2406-186(コーポラス幸武106-1-1) ☎(0299)91-0335
四国	☆北関東支店	〒312-0053 ひたちなか市外野2-32-6 ☎(029)275-2951
	群馬営業所	〒330-0071 さいたま市浦和区上木崎2-11-21 ☎(048)834-3111
	松本営業所	〒371-0855 群馬県高崎市栄町4番11号(原地所第2ビル) ☎(027)367-1370
九州	☆山口営業所	〒390-0852 松本市島立943(ハーモネットビル) ☎(0263)48-3586
	☆敦賀SC	〒930-0004 富山市桜橋通り3-1(富山電気ビル) ☎(076)441-1238
	☆山口営業所	〒950-0965 新潟市中央区新光町16-4(荏原新潟ビル) ☎(025)284-5325
中国	☆山口営業所	〒918-8237 福井市和田東2-813 ☎(0776)21-7170
	☆山口営業所	〒460-0007 名古屋市中区新栄1-5-8(広小路アクアプレイス) ☎(052)231-8546
	☆山口営業所	〒553-0002 大阪府大阪市北区大深町3番1号(グランフロント大阪タワーB) ☎(06)7166-7324
九州	☆山口営業所	〒651-2271 神戸市西区高塚台4-1-1 ☎(078)991-2151
	☆山口営業所	〒598-0047 泉佐野市りんくう往来南2-2(りんくうエルガビル) ☎(072)458-9601
	☆山口営業所	〒914-0811 敦賀市呉竹町2-3-30 ☎(0770)22-0262
九州	☆山口営業所	〒730-0022 広島市中区銀山町14-18 ☎(082)247-4262
	☆山口営業所	〒710-0842 倉敷市吉岡572-11 ☎(086)422-0922
	☆山口営業所	〒755-8577 宇部市相生町8-1(宇部興産ビル) ☎(0836)21-3177
九州	☆山口営業所	〒760-0017 高松市番町1-6-8(高松興銀ビル) ☎(087)851-0085
	☆山口営業所	〒812-0025 福岡市博多区店屋町5-18(博多NSビル) ☎(092)262-7855
	☆山口営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町9-1(鹿児島中央第一生命ビル) ☎(099)286-1234
九州	☆山口営業所	〒900-0004 那覇市銘苅2-4-51(ジェイツービル) ☎(098)866-0341
	☆山口営業所	☆:小容量UPS(10kVA以下)および富士インテリジェントUPS(RXシリーズ)のみ対応。
	☆山口営業所	

北陸	北陸支社	〒930-0004 富山市桜橋通り3-1(富山電気ビル) ☎(076)441-1238
	新潟営業所	〒950-0965 新潟市中央区新光町16-4(荏原新潟ビル) ☎(025)284-5325
	福井SC	〒918-8237 福井市和田東2-813 ☎(0776)21-7170
中部	中部支社	〒460-0007 名古屋市中区新栄1-5-8(広小路アクアプレイス) ☎(052)231-8546
	関西支社	〒553-0002 大阪府大阪市北区大深町3番1号(グランフロント大阪タワーB) ☎(06)7166-7324
	神戸SC	〒651-2271 神戸市西区高塚台4-1-1 ☎(078)991-2151
中部	泉州SC	〒598-0047 泉佐野市りんくう往来南2-2(りんくうエルガビル) ☎(072)458-9601
	☆敦賀SC	〒914-0811 敦賀市呉竹町2-3-30 ☎(0770)22-0262
	中国支社	〒730-0022 広島市中区銀山町14-18 ☎(082)247-4262
中国	東中国営業所	〒710-0842 倉敷市吉岡572-11 ☎(086)422-0922
	☆山口営業所	〒755-8577 宇部市相生町8-1(宇部興産ビル) ☎(0836)21-3177
	☆山口営業所	〒760-0017 高松市番町1-6-8(高松興銀ビル) ☎(087)851-0085
四国	九州支社	〒812-0025 福岡市博多区店屋町5-18(博多NSビル) ☎(092)262-7855
	鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町9-1(鹿児島中央第一生命ビル) ☎(099)286-1234
	沖縄支社	〒900-0004 那覇市銘苅2-4-51(ジェイツービル) ☎(098)866-0341
九州	☆山口営業所	☆:小容量UPS(10kVA以下)および富士インテリジェントUPS(RXシリーズ)のみ対応。
	☆山口営業所	
	☆山口営業所	

☆:小容量UPS(10kVA以下)および富士インテリジェントUPS(RXシリーズ)のみ対応。

設置条件

- 本装置は屋内用です。
据付けにあたっては、直射日光の当る場所や風雨にさらされる場所は避けてください。
- ちりやほこりの多い場所、高温多湿の場所は避けてください。
- 設置場所の温度条件は0～+40℃で設計されていますが、UPSの安定稼働や蓄電池の寿命などの点から、25℃以下での運転を推奨します。(発熱量は定格仕様をご参照ください)
- 次のような用途に使用する場合は、システムの多重化、非常用発電設備の設置や、運用、維持、管理などについて特別な配慮が必要となりますので、事前に当社へご相談ください。
 - 人命に直接かかわる医療機器
 - 人身の損傷に至る可能性のある機器
 - 社会的、公共的に重要なコンピュータシステム
- 詳細は各シリーズの取扱説明書や仕様書をご確認ください。

◎本品の使用(ハードウェア・ソフトウェア)に起因する事故が発生しても、接続機器・ソフトウェアの異常・故障に対する損害・その他二次的な波及損害を含むすべての損害の補償には応じかねます。

※本カタログに記載されている商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

安全に関するご注意

*ご使用前に、「取扱説明書」や「仕様書」などをよくお読みいただくか、当社またはお買上の販売店にご相談のうえ、正しくご使用ください。

*取扱いは当該分野の専門の技術者を有する人が行ってください。

このカタログは再生紙を使用しています。

富士電機株式会社

☎(03)5435-7111
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2
(ゲートシティ大崎イーストタワー)

●支社・支店・営業所

北海道 (011)261-7231
道南 (0143)44-6800
東北 (022)225-5351
岩手 (0198)26-5161
東関東 (043)266-7622
北関東 (048)834-3121
群馬 (027)367-1370
松本 (0263)48-2763
北陸 (076)441-1231
金沢 (076)291-8830

新潟 (025)284-5325
中部 (052)746-1000
豊田 (0566)83-9915
静岡 (054)255-7623
三島 (055)976-3331
浜松 (053)413-6161
三重 (059)353-3471
関西 (06)7166-7300
神戸 (078)371-3288
滋賀 (0748)31-1360

中国 (082)247-4231
山口 (0836)21-3177
東中国 (086)422-0922
四国 (087)851-9101
松山 (089)933-9100
高知 (088)824-8122
徳島 (088)657-4110
九州 (092)262-7800
小倉 (093)562-2323
大分 (097)532-9161

長崎 (095)822-6165
熊本 (096)334-7781
宮崎 (0985)24-7281
鹿児島 (099)286-1234
沖縄 (098)862-8625

ホームページURL <http://www.fujielectric.co.jp>

本資料の内容は製品改良などのために変更することがありますのでご了承ください。

2015-9(I2015/I2015)CTP10EP Printed in Japan